

台湾へのりんご輸出拡大に向けた青森県の取組について

1 輸出の目標と現状

青森県では、2010年から目標数量を掲げて、世界各国への青森りんごの輸出に取り組んでいます。

その中で最も重要な輸出先に位置づけているのが台湾であり、全輸出量の90%以上が台湾向けとなっています。

(1) 台湾へのりんご輸出目標と実績（目標値は2010年設定）

年産	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
目標数量(トン)	—	—	—	—	20,600	21,680	22,760
実績数量(トン)	22,318	23,878	20,498	21,656	15,912	8,457	
達成割合(%)	—	—	—	—	77	39	

台湾がWTOに加盟した2002年以降、台湾へのりんごの輸出は順調に伸びてきました。特に、2006年産から2009年産までの4年間は、連続して2万トンを超えました。

しかし、2010年産は東日本大震災とそれに伴う原子力発電所事故の影響で1万6千トン弱に止まり、さらに2011年産は生産量が少なかったことによる価格高騰で8千トンまで激減し、目標を大きく下回ってしまいました。

(2) 今年産りんごの台湾への輸出希望数量

2012年産輸出希望数量	2万トン以上
--------------	--------

青森県では、今年、平年並みの生産数量を確保できる見通しであり、台湾の皆様の要望に十分応える量を輸出できると考えています。

したがって、2009年産までと同様の2万トン以上の輸出を希望しています。

<品種別希望割合>

品 種	サンふじ	ふ じ	ト キ	王 林	世界一	その他
割 合	50%	30%	5%	5%	5%	5%

2 台湾への輸出対策

台湾の皆様へ、安全・高品質で美味しい青森りんごを提供するため、青森県では関係者一同力を合わせて次の対策に取り組めます。

(1) 生産・流通対策

- ①農薬の適正使用により、病虫害の防除を徹底します。
- ②炭酸ガス障害(褐変)防止対策に取り組めます。
- ③放射性物質のモニタリング調査により、安全性の確保と情報発信に努めます。

(2) 消費宣伝対策

台湾の消費者に青森りんごのおいしさをアピールし、消費拡大を図るため、関係機関・団体が次のような取組を行う予定です。

時期	場 所	内 容
2012年 10月	日本・台湾	台湾のメディアに青森りんご取材してもらい、生産者の取組や安全性などの情報を台湾で発信してもらいます。
	台北又は台中	量販店で青森りんごの試食宣伝を行います。
12月	台湾全体	台湾全土に展開する大手スーパーマーケットで「青森りんご試食キャンペーン」を実施します。
	台北	台北国際マラソンに参加して青森りんごをPRするほか、マスコミを表敬訪問します。
	台北又は台中	量販店で青森りんごの試食宣伝を行います。
2013年 1月	台北	百貨店で青森りんごの試食宣伝や消費イベントを行うほか、マスコミを表敬訪問します。
	台北又は台中	量販店で青森りんごの試食宣伝を行います。
2月(又は1月)	台南	百貨店で青森りんご試食宣伝や消費イベントを行います。